

平成27年12月10日

第91号

ひたちなか市議会だより

発行 茨城県ひたちなか市議会

編集 議会広報委員会

電話 029 (273) 0111 (内線4211)

「新生議会始動」 ～ひたちなか市の発展へ向けて始動する新生ひたちなか市議会議員～



新生議会始動

正副議長など議会人事が決定

ひたちなか市議会議員一般選挙後の初議会となる臨時会を11月16日に開催しました。今期臨時会は、年長の安雄三議員が臨時議長となつて開会し、冒頭の間源基市長のあいさつの後、投票による議長選挙を行い、打越浩議員が議長に当選しました。続いて、投票による副議長選挙を行い、武藤猛議員が当選しました。

次に、議員提案による市議会委員会条例の一部改正議案を提出し、原案のとおり可決しました。

続いて、総務生活、文教福祉、経済建設、予算、決算、議会広報の各常任委員会委員と議会運営委員会委員を選任し、それぞれ正副委員長を選出しました。さらに、2つの一部事務組合議会議員を指名推選により選出した後、投票により茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員を選出しました。

次に、市長から専決処分2件が報告された後、監査委員の選任に同意し、閉会しました。

正副議長あいさつ

夢のあるまちづくり

実現に向けて

安全で安心して暮ら

せる市を目指して



議長 浩 打越



副議長 猛 武藤

この度市議会改選後の臨時会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、第十二代議長に就任いたしました。誠に光栄でありますとともに、その責任の重さを改めて痛感いたしております。

地方創生という潮流の中、地方分権からさらに先に踏み込んだ概念に基づく改革が強くなり、自治体には自立に向けた施策が重要となります。

ひたちなか市もさらなる発展を目指し、市民一人一人が安全・安心なまちづくりの実現に向けて、行政と議会が一体となった議会運営を進めてまいりたいと考えております。

皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

このたび議員各位のご推挙を賜り副議長の重責を担うことになり、その重大さに身の引き締まる思いであります。微力ながら議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいります。

本市を取りまく状況は、少子高齢化への対応、生活環境の整備など多くの行政課題が山積みされています。これら多くの課題に対して本市の特徴の一つであります「高い市民力」と力を合わせ、「安全で安心して暮らせる」ひたちなか市の実現に向けて努力してまいります。

皆様のより一層のご理解とご指導をお願い申し上げます。ごあいさついたします。

会派構成が決まり
抱負を語る
（3会派6諸派）

ふるさと21

信頼される議会を

目指して

過日行われた選挙後の会派構成において、ふるさと21は新人議員5名を加え、10人の大所帯となりました。それだけに市民に対する責任も増したと言えます。責任に堪える政策集団であるか問われているのではないかと思います。

ふるさと21は、10人でスクラムを組み、市民の皆様からの声を議会へ反映させると同時に、さらなる開かれた議会、さらなる信頼される議会を目指し、自己研鑽を怠らず、一歩、また一歩と慌てず休まず前進し続けたいと思っています。



弓削 仁一



大内 健寿



所 茂樹



清水 健司



代表 樋之口 英嗣



打越 浩



清水 立雄



大谷 隆



鈴木 一成



海野 富男

日新クラブ

市民目線で暮らしやすいまちづくり

日新クラブは、「日々これ新たななり」をモットーに昭和33年に結成され、以来「市民の目線」「生活者起点」を原点として活動してまいりました。

少子高齢化の進む中、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、産業の活性化、財政基盤の強化、さらに生活に密着した福祉・教育・文



北原 祐二



代表 深谷 寿一



武藤 猛



三瓶 武



岩本 尚之

化・環境などの行政課題につきましても、多様化する社会ニーズに対応した提言をし、市民の皆様への付託に応えてまいります。

今後とも市のさらなる発展と暮らしやすいまちづくりのため、皆様のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

公明党議員団

「生活現場主義」で

市政に全力投球

市民の皆様には、日頃より一方ならぬご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

公明党議員団は、現場を歩き、皆様の声を真剣に受け止め、生活者の視点に立つてさまざまな政策を実現してまいりました。生活の現場に密

諸派(日本共産党)

安心して暮らせる

市政を求めて全力

日本共産党は、市民の皆様のご支援をいただき、2議席を得ることができました。

安倍政権の暴走政治によって市民生活は深刻さを増しています。今こそ国の悪政の防波堤となつて、市民の暮らしを守るあたためたい市政の実

着していなければ本当の民衆の支持は得られない、時代の変化は現場にも表れていきます。「知恵は現場にあり」という行動力が大事です。

公明党議員団は、山積する課題に現場主義を掲げ、「現場の声」を第一に生活者の目線で市民の皆様が、ひたひたにか市に住んでよかつたと、実



代表 佐藤 良元

現が強く求められます。私たちは、市民の「いのちと暮らし」を守り、子育て最優先の市政実現を目指して全力を尽くしてまいります。

また、原発を再稼働させないこと、戦争法を廃止し、憲法9条を守ることは生活の基本です。安心して暮らせる政治の実現、そして市民の声を議会に届け、その報告を行うという議員の役割をしっかりと果たしてまいります。



宇田 貴子



山形 由美子



雨澤 正



加藤 恭子

感でできる地域社会の実現に向けて精一杯努力してまいります。なお一層のご指導ご支援を宜しくお願いします。

諸派(群衆の会)

政治の最前線、

市民の声に素直に

月日の経つのは早く、社会の急速な変化に驚かされます。新生議会がスタートしました。10年後、20年、50年と考えると、どのような社会になっているのか、なかなか想像することが難しい時代です。それでもいつの時代でも自然を畏敬し、祖先を敬い、

今あることを感謝し、来るべき未来の社会のあるべき姿の水先案内人として、決断をしていくのが議員に与えられた使命と思っています。

皆さまの心を心として私たちの那珂大地の大きい未来のために英知と勇気と情熱を持って懸命に奮闘してまいります。



安 雄三

諸派(市民改革クラブ)

市民に身近な

市政をつくりまします

地方分権時代にふさわしい「市民のための市政をつくる」ために市民改革クラブを結成しました。15万9千人の市民が安心して暮らせるまちづくりを第一に、緑の環境を守り育て、産業と商店街の活性化、医療と福祉の充実、教育の充実などを中心にして取

り組んでいきます。

また、議会改革をさらに進め、議会報告会の充実により市民の声を大事にし、市民に身近な市政になるようにしていきます。



井坂 章

諸派(政友会)

次の世代への

櫂(たすき)をかけて

先人たちは幾多の困難を克服し、その度に立ち上がり、私たちの暮らす今日の礎を築いてこられました。今日を生きる私たちは、先人の想いを引き継ぎ、「今日の安心と明日への希望」を実現させるべく、手を携えて歩んでいくことが、私たちの

与えられた役目ではないでしょうか。

昨年、本市誕生20周年を迎えた今、さまざまな諸問題に向き合いながら、限らない可能性あるこのまちを皆さまと一緒に築いてまいります。

私は、現場の声に耳を傾け、マラソンで培った粘り強さと根気さで、全身全霊を注ぎ、取り組み所存であります。



薄井 宏安

諸派(自由民主党)

市民の声・地域の声

によるまちづくり

自由民主党新政会は、自民党の掲げる「地方こそ成長の主役」を基に市民の声・地域の声に耳を傾け、ともに考え行動することを第一に取り組んでまいります。

地元産業の発展、地産地消の推進、子育て支援の向上、教育環境およびスポーツ環境の充実、誰もが行動しやすいバリアフリーのまちづく

り等々が課題となっている現在、これらの課題を市民の皆さまとともに考え行動し、解決のため発言していきたいと思っております。

今後「市民が主役」を掲げ、夢と希望を持てるまちづくり、住みたいと思えるまちづくりのため、皆様のご指導、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



大内 聖仁

諸派(市民の風)

市政前進の

種火として

市民の皆様には、日頃よりご意見とご協力を頂きましてありがとうございます。二元代表制の一翼を担う議会の一員として、市政諸課題に対して未来を見据え是非々で議論をしてまいります。

また、議会を市民の皆さまに少しでも身近に、そして理解して頂く努力を続け、行政と議会の適切なる緊張感と切磋琢磨しあえる環境づくりに努力していく決意です。時代は変化しております。郷土の先輩方が切り拓いた歴史を継承しつつ、ひたひたなか市が新たな変化の時代の主役となるように、一所懸命頑張ります。



鈴木 道生

新生議会の人事が決定しました

総務生活委員会

企画部、総務部、市民生活部、出納課、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会の所管に属する事項および他の委員会に属さない事項について、効率的かつ弾力的な行政運営や安全・安心で快適な住みよい生活環境づくりを推進するため、議案の審査や施策の調査などを行います。

- 委員長 佐藤 良元
- 副委員長 大内 健寿
- 委員 北原 祐二
- 委員 山形 由美子
- 委員 大谷 隆
- 委員 武藤 猛
- 委員 大内 聖
- 委員 樋之口 英嗣



文教福祉委員会

福祉部および教育委員会の所管に属する事項について、元気で思いやりと豊かに支えられたまちづくりと豊かな人間性を育み個性がきらめく教育文化の充実を目指して福祉・教育の充実を推進するため、議案の審査や施策の調査などを行います。



- 委員長 深谷 寿一
- 副委員長 海野 富男
- 委員 弓削 仁
- 委員 宇田 貴子
- 委員 雨澤 正
- 委員 清田 立
- 委員 三瓶 雄
- 委員 安雄 三

経済建設委員会

経済部、農業委員会、建設部、都市整備部および水道事業所の所管に属する事項について、多様な産業が発展し、にぎわいあふれるまちづくりと機能的で潤いに満ちて安全に暮らせるまちづくりを推進するため、議案の審査や施策の調査などを行います。

- 委員長 鈴木 一成
- 副委員長 加藤 恭子
- 委員 清水 健司
- 委員 所茂 樹
- 委員 岩本 尚之
- 委員 鈴木 道生
- 委員 薄井 宏
- 委員 井坂 章



予算委員会

一会計年度の収入・支出の見積もりである歳入歳出予算について、当初予算および補正予算を審査し効果的・効率的な行政運営を図ります。

- 委員長 三瓶 仁
- 副委員長 大内 健
- 委員 海野 富男
- 委員 北原 祐二
- 委員 岩本 尚之
- 委員 山形 由美子
- 委員 清水 立
- 委員 薄井 宏
- 委員 佐藤 良元
- 委員 樋之口 英嗣
- 委員 井坂 章

決算委員会

一会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、その内容を調査・確認した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうか審査します。

- 委員長 大谷 隆
- 副委員長 大内 聖
- 委員 清水 健
- 委員 所茂 樹
- 委員 鈴木 道
- 委員 宇田 貴
- 委員 加藤 恭
- 委員 雨澤 正
- 委員 鈴木 一
- 委員 深谷 一
- 委員 武藤 猛
- 委員 安雄 三

議会広報委員会

開かれた議会を目指し、市民に親しまれ、理解される議会広報を推進します。

- 委員長 雨澤 正
- 副委員長 清田 貴
- 委員 北原 祐
- 委員 鈴木 道
- 委員 宇田 立
- 委員 大谷 隆

議会運営委員会

議会運営を円滑に行うため、議会運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項について協議・調査します。

- 委員長 清水立雄
- 副委員長 岩本尚之
- 委員 加藤恭子
- 委員 鈴木一成
- 委員 大谷隆



広域連合議会議員

広域連合議会の議員が、次のとおり選出されました。

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員

武藤 猛

一部事務組合議会議員

一部事務組合議会の議員が、次のとおり選出されました。

茨城北農業共済事務組合議会議員

海野 富男
井坂 章

ひたちなか・東海広域事務組合議会議員

大内 健寿
大谷 隆
岩本 尚之
雨澤 正
山形 由美子
大内 聖仁



議会運営委員会 樋之口英嗣氏を選任同意



監査委員 樋之口 英嗣

ひたちなか市監査委員の選任については、市議会議員から選任していた佐藤良元氏が去る10月31日をもって任期満了となり退任されたことに伴い、後任の委員として樋之口英嗣氏を選任することに同意しました。

同氏は、平成15年11月、ひたちなか市議会議員に就任して現在に至っており、その間、議会運営委員会委員長、ひたちなか市議会議長などを歴任されています。

用語解説

党派と諸派

党派とは、議会内において、市政に対して同じ考えや意見を持つている者が効果的に市政に反映させるため結成した集団である。

ひたちなか市議会においては、3人以上を党派としており、2人以下は諸派として取り扱っている。

党派は、代表質問をすることができたり、人事が所属議員数によって割り当てられるなどの利点がある。



編集手帳



10月25日執行のひたちなか市議会議員一般選挙を経て11月1日から新生議会が始動しました。

11月19日には、新たに選任された6人の議会広報委員で委員会を開催し、広報活動について協議しました。

議会広報委員会は、皆さまでに親しまれ、読みやすい議会だよりづくりや必要な情報が掲載され、見やすい議会ホームページづくりなど議会広報の推進に努めてまいります。

今後、新生議会では本格的な議会活動に入ります。開かれた議会へ向けて市民の皆さまにその活動内容をお伝えしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

本会議録画映像を
配信中!

ひたちなか市議会

検索



再生紙と植物油インキを使用しています。